

9 晩生梨「新興」に適した摘果方法

ねらいと成果

「新興」は10月上中旬に収穫される晩生梨で、大果で肉質が優れ、食味に優れる品種である。また、日持ちも良く、年末まで保存が可能である。

現在、「新興」は主に「二十世紀」の産地で栽培され、主に贈答用などに出荷されている。産地では、秋冬の観光客向けに、今後販売を伸ばす予定であり、「新興」の高品質果生産への欲求が強まりつつある。しかしながら、「新興」の高品質果生産のための栽培技術は十分に解明されていない。そこで、高品質果生産のための一段階として、「新興」の摘果方法について検討した。

その結果、摘果の際には、形の良い、大きな果実を残すことで、大果で変形の少ない果実を生産できることが明かとなった。

内容

1 番果と果重の関係

5月上中旬の摘果時に、1～2番果、3～4番果、5～6番果を残す区と、果そうの中で、大きく変形の

少ない果実を残す区について、収穫時の果重を比較した。

'97、98年の2か年の調査によると、年次により変動がみられたが、いずれの年とも元花に近いほど、果重が大きくなった。また、摘果時に大きい果実を残した区は、1～2番果区と同程度の果重であった。

2 番果と変形果率

いずれの年も元花ほど変形果率が高くなった。最も変形果率が低かったのは、摘果時に果そうの中で大きく、変形の少ない果実を残した区であった。

3 番果と果肉硬度、果汁のpH、Brixの関係

果肉硬度は元花ほどやや高くなる傾向がみられたが、大きな差ではなかった。果汁のpH、Brixは違いによる明かな差はみられなかった。

今後の方針

「新興」の大果・高品質生産のための着果量などについても検討する。

松浦 克彦 (北部農技・農業部)

表 晩生梨「新興」における番果と果実品質の関係

調査年	処理区	果重	果色	横径	縦径	果肉 硬度	果汁		変形 果率
							pH	Brix	
'97年	1～2番果	551.0g	5.1	105.4mm	89.7mm	4.9lbs	4.61	12.3%	60.0%
	3～4番果	532.9	5.1	103.2	89.5	5.0	4.64	11.9	55.5
	5～6番果	526.5	5.1	102.8	89.9	4.8	4.69	12.3	55.5
	大果選抜	553.5	5.0	104.6	90.7	5.0	4.67	12.1	44.4
'98年	1～2番果	661.9	5.1	109.9	97.9	5.2	4.29	10.9	37.8
	3～4番果	630.8	5.0	108.5	95.4	5.1	4.32	10.5	37.5
	5～6番果	585.2	4.8	105.3	94.7	5.0	4.29	10.7	32.4
	大果選抜	654.1	5.1	109.1	96.5	4.9	4.26	10.6	30.0

注)果色は農林水産省果樹試験場作成のカラーチャート値(地色用)